

宮本哲也式算数パズル

※著作権がありますので、真似て作ってみたものです。間違いがあったらごめんなさい。

ルール

- ①マスの中には1~4の数字が入ります。
- ②どの列(たてと、横とも)には1~4の数字が1つずつ入ります。
- ③書かれている数字は太線で囲まれたマスの和(足した数)を表しています。

こういったものはダメです。ルール①、③は守られていますが、②が守られていません。
主に②のルールを意識してもらえると取り掛かれる

と思います。

この3つのルールを基に解く算数パズルです。

4	1	2	4	9	3	7
1	4	1	4			
7	3	4	1	2	4	
3	3	3	9	1		

では解いてみてください!!!

7	7			
	5		3	
4		8		
6				

解説は次のページ、解答は最後のページにあります。

このパズルは、試行錯誤しながら解くこともできますが、筋道を立てて考えていくことで、解いていくことが可能です。

【解説】解き方の一例にすぎません。様々な道筋から解くことができます。行き詰った時のヒント等にお使いください

〈ステップ1〉

まず7と3の場所を考えます。7の作り方はここでは、「1+2+4」しかありません。なぜなら「2+2+3」「3+3+1」だとルール②に引っかかるからです。

そして3の作り方は「1+2」です。1と2が上下どのように入るかはまだわかりませんが、その上に7を作るための「4」が入ることは分かります。(もし「1または2」が入る場合は、ルール②をやぶることになる。)

そしてここで8の右下の部分もルール②によってたてに1、2、4があることから3であることがわかります。

7	7		4
	5		3
4		8	
6			3

〈ステップ2〉

次に左の7を考えます。7を2マスで作成には「3+4」しかありません。そして先ほど決定できた4考えると自然と上が3になります。もし4が上に来ると横1列に4が2個あることになり、ルール②を破ってしまいます。

7	7		4
3			
4	5		3
4		8	
6			3

〈ステップ3〉

次に下の4を考えます。4は「1+3」「2+2」でつくることができますが、「2+2」だとルール②を破ってしまうので、「1+3」であることがわかります。そして先ほどの7で決定した3と4を考えると、左が1で右が3であることがわかります。そして水色の一番下は1~4で残っている2だと分かります。

7	7		4
3			
4	5		3
1	3	8	
6			3

〈ステップ4〉

次に下の6を考えます。6は「2+4」ですが、水色の一列を考えることで、左が2右が4であることがわかります。

7	7		4
3			
4	5		3
1	3	8	
2	4		3

<ステップ5>

そろそろ一気に進めることができますので、読まずに進めてもらっても大丈夫です。

次に、8に戻ります。水色の横一列を考えると残りの1が入ることがわかります。そして8にするために、1の上は4になります。

⁷ 3	⁷		4
4	⁵		³
⁴ 1	3	⁸ 4	
⁶ 2	4	1	3

<ステップ6>

次に3を考えます。3は「1+2」です。水色の一列を考えると下は2で上が1であることがわかります。

⁷ 3	⁷		4
4	⁵		³ 1
⁴ 1	3	⁸ 4	2
⁶ 2	4	1	3

<ステップ7>

次に5を考えます。赤と青の列を見ると青の列から残りは「2と3」とわかり赤の列に3があることから左に2が入り、右に3が入ることがわかります。

⁷ 3			4
4	⁵ 2	3	³ 1
⁴ 1	3	⁸ 4	2
⁶ 2	4	1	3

<ステップ8>

最後はたてにみて、左に1右に2となって和が「1+2+4」で7になるので完成です。

答え↓

⁷ 3	⁷ 1	2	4
4	⁵ 2	3	³ 1
⁴ 1	3	⁸ 4	2
⁶ 2	4	1	3

⁷ 3	⁷ 1	2	4
4	⁵ 2	3	³ 1
⁴ 1	3	⁸ 4	2
⁶ 2	4	1	3